

令和7年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

文化芸術課

1 施設の概要等

施設名	広島県民文化センターふくやま		
所在地	福山市東桜町 1-21		
設置目的	県民の文化の振興に資する。		
施設・設備	ホール（530席）、練習室（2室）、文化交流室（1室）、楽屋（4室）		
指定管理者	6期目	R3.4.1～R8.3.31	広島県民文化センターふくやま共同企業体
	5期目	H28.4.1～R3.3.31	広島県民文化センターふくやま共同企業体
	4期目	H25.4.1～H28.3.31	㈱不二ビルサービス
	3期目	H23.4.1～H25.3.31	県民文化センターふくやま共同事業体
	2期目	H20.4.1～H23.3.31	(財) 県民センター
1期目	H17.4.1～H20.3.31	(財) 県民センター	

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	ホール利用率	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	利用状況	6期	R7	67.0%	60.5%	3.5%	△6.5%
R6			66.0%	57.0%	△8.7%	△9.0%	(86.4%)
R5			65.0%	65.7%	3.7%	0.7%	(101.1%)
R4			64.0%	62.0%	15.1%	△2.0%	(96.9%)
R3			63.0%	46.9%	△8.0%	△16.1%	(74.4%)
5期平均		H28～R2	65.0%	54.9%	1.6%	△10.1%	(84.5%)
4期平均		H25～H27	58.0%	53.3%	1.6%	△4.7%	(91.9%)
3期平均		H23～H24	58.2%	51.7%	0.5%	△6.5%	(88.8%)
2期平均		H20～H22	58.6%	51.2%	△5.5%	△7.4%	(87.4%)
1期平均		H17～H19	60.0%	56.7%	△0.7%	△3.3%	(94.5%)
	(導入前) H16	—	57.4%	—	—	—	
増減理由	大規模修繕工事により一時休館したため、目標達成には至らなかったが、自主事業の積極的な実施により、前年度よりホール利用率が向上した。						

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象】
	アンケートの実施	主催者
	意見箱の設置	施設利用者
	【主な意見】	【その対応状況】
	ホールにある親子室が暑い。 和式トイレが使い辛い。	空調は個別で調節できないため、扇風機により対応した。 洋式トイレへの改修を検討する。

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務報告書
	日報（必要随時）	—	
管理運営会議（6回・現地）	【特記事項等】 音響、照明設備の老朽化。 【指定管理者の意見】 複数回にわたり音響、照明設備の不具合が生じ、部品交換の修繕対応を繰り返しているため、計画的な修繕を行う必要がある。		
現地調査（2月に実施）	【県の対応】 令和8年度に音響及び照明の調整卓を修繕予定であり、計画的な修繕工事に着手する。		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度		金額	対前年度増減
	6期	R7	63,792	△602		6期	R7	30,936	546
		R6	64,394	3,566			R6	30,390	△2,378
		R5	60,828	△1,490			R5	32,768	3,123
		R4	62,318	1,189			R4	29,645	8,209
		R3	61,129	3,379			R3	21,436	△6,263
	5期平均	H28~R2	57,750	485		5期平均	H28~R2	27,699	△2,242
	4期平均	H25~H27	57,265	859		4期平均	H25~H27	29,941	2,014
	3期平均	H23~H24	56,406	△815		3期平均	H23~H24	27,927	△994
	2期平均	H20~H22	57,221	△4,774		2期平均	H20~H22	28,921	△266
	1期平均	H17~H19	61,995	△14,777		1期平均	H17~H19	29,187	△2,046
	(導入前)	H16	76,772	—		(導入前)	H16	31,233	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		R7 決算額	R6 決算額	前年度差	主な増減理由等
収 入	県委託料	63,792	64,394	△602	工事に係る休業補償費の減
	料金収入(※1)	30,936	30,390	546	ホール等利用者の増
	その他収入	3,336	3,404	△68	
	計(A)	98,064	98,188	△124	
支 出	人件費	21,848	21,234	614	人件費単価の増
	光熱水費	16,652	16,248	404	ホール等利用者の増
	設備等保守点検費	2,387	1,924	463	物価等高騰に係る委託料の増
	清掃・警備費等	33,470	35,461	△1,991	EV 工事保守点検費の減
	施設維持修繕費	7,038	7,863	△825	館内修繕箇所の減
	事務局費	2,743	4,473	△1,730	備品購入費の減
	その他	3,350	2,734	616	消耗品費の増
	計(B)	87,488	89,937	△2,449	
	収支①(A-B)	10,576	8,251	2,325	
自主事業 (※2)	収 入(C)	2,140	1,808	332	新規自主事業の実施に伴う 収入・支出の増
	支 出(D)	7,404	6,198	1,206	
	収支②(C-D)	△5,264	△4,390	△874	
合計収支(①+②)		5,312	3,861	1,451	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業。

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用發揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	楽器体験ひろば等の参加・鑑賞・体験型の各種自主事業を継続実施し、文化芸術の振興を図った。さらにホール内の舞台裏に触れるバックステージツアーの実施など、新規自主事業の企画にも積極的に取り組み、施設の利用促進を図った。	音楽関連の事業者を構成企業に持つ指定管理者の強みを活かした自主事業を積極的及び継続的に展開し、文化の振興及び県民が文化芸術に触れる機会の創出に貢献している。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	福山市を中心に活動する演奏家等によるコンサートとして「福山音楽祭」を複数回開催するなど、県民が気軽に音楽に触れられる場を提供した。	地元地域と連携した事業を展開することで、県民の文化振興に貢献している。
	○業務の実施による、施設の利用促進	ホールの直前予約利用や練習のためのピアノ演奏利用における利用料金減免サービスを継続実施し、施設利用の促進を図った。	施設利用時における利用者利便の向上を図るとともに、利用者のニーズに合ったサービスを実施し、利用の促進及び利用率の向上に努めている。
	○施設の維持管理	施設の老朽化による設備機器の一部不具合にあたっては、即座に対応し利用者の負担軽減に努めた。	不具合には随時早急に対処することで、適切に施設を管理し、利用者の負担軽減策の実施に努めている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	共同事業体の構成企業間で連携し、各々の業務に応じた適切な人員配置を行った。	業務に応じた適切な組織体制で適切な管理運営を実施している。
	○効率的な業務運営	職員各自の節電対策の取組により、不要な支出の抑制に努めた。	物価高騰の影響下においても収支の改善に向け適切に対応している。
	○収支の適正	日常点検業務や小規模修繕を随時自社でも行い、支出低減に努めた。	施設の維持管理を適切に行い、支出を低減するよう取り組んでいる。
総括		利用者ニーズに応じた事業やサービスの充実に取り組むことにより、施設の利用促進に努めた。 また、利用者の安全面と利便性を考慮した適切な設備修繕等の実施により、安定した利用の維持に努めた。	収支の適正化や老朽化した施設・設備の維持管理を適切に行うとともに、自主事業やサービスの充実に積極的に取り組み、利用促進に努めている。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和8年度)	利用率向上のため、引き続き、アンケート等を通じて利用者ニーズの把握に努め、自主事業の充実を図っていく。	今後も指定管理者と随時情報を共有し、施設の利用促進につながるような事業の検討及び効率的な事業運営に向けた働きかけを行う。
中期的な対応	利用者の安心・安全な利用の確保に向け、県や建物管理事務所との連携を図りながら、計画的に施設の修繕を行い、適切な施設の維持管理、運営に努める。	指定管理者と連携して施設の有効利用について検討するほか、今後の計画的な修繕について、関係者と協議を行い、適切に修繕工事を実施し、利用率向上を図る。